



2019年11月28日発行 会報第997号

今週のプログラム

(2019年11月28日 第997回例会)

「ファイアースイド ミーティング」

担当： 木下 健治会長

次週のプログラム

(2019年12月5日 第998回例会)

卓話：「ウソのようなホントの話」

担当： 柳原 健治会員

第996回例会 (2019年11月21日) の記録

<会長の時間>

木下 健治会長

皆様、こんばんは。今回は欠席で大変申し訳ありません。日本出発前にこれを書いています、アナハイムは時差が17時間あるのでこれが読まれる頃は、現地は深夜ですね。

先週は留学生との交流会、お疲れ様でした。藤田委員長代行はじめ、皆様のおかげで非常に盛り上がった交流会だったと思います。留学生の皆さんの感性の鋭さ、着眼点に感心しきりでした。

改めて、外部から見た日本という観点に興味を覚えました。私も数日ではありますが、現在外から日本を見る立場にあります。食事を含め、日本のよさに気付くこともありますし、悪い所に気付くこともあります。特に道を歩いていてぶつかりそうになると、向こうから

“I'm sorry!”とまず言ってくれます。気持ちがいいものです。日本でも心がけたいものです。

山本加奈子さんから連絡があり、真備町のボランティアから、リフォーム後の現地の物資が不足している、もし不要のものがあるなら寄付頂けるとありがたいですとの依頼がありました。これを書いている時点では、男性用洋服、肌着(新品のみ)、食器類、冬用家電が不足している様です。

詳細はわかり次第ご連絡します。

次週はファイヤースイドミーティングです。先日の理事会で、理事・役員含め、委員会構成・人数を大きく変更する案が通りましたので、その内容の確認をしたいと思います。そして新例会場も理事会で「ル・ジャルダン」に決定したので、具体的にいつから新例会場にするのか、事務局の引越しが一番大変ですが、いつするのか、どういった順序とするのか、お話しができればと思います。

12月に入ると1000回記念例会があります。藤田親睦委員長にいろいろと準備して頂いています。

年明けには引越しの準備に入ります。いいのか悪いのか今年は本当に当たり年だなと思います。

組織変更も今やっておかないと今後のクラブ運営に影響が出ると思い、着手させて頂きました。

なかなか皆さんの期待に応えられていないと思いますが、すべきこと、できることをやっていこうと思っています。渡邊幹事にも何かとご苦勞をかけていますが、怒涛の一年を共に進めて行きたいと思っています。

<お客様> 無し

<出席報告> 黒川 彰夫 SAA
会員数（内出席免除会員1名） 19名
本日の出席者数（内免除会員1名） 15名
（内名誉会員0名）
本日の出席率 78.95%

<ロータリーソング> 全会員
♪紅葉 もみじ♪

<ピアノ演奏> 近藤美里さん
1. タンゴ四季より「冬」 ピアソラ
2. リベルタンゴ ピアソラ
3. 枯葉

<幹事報告> 渡邊 了允幹事

1. 11月14日福島21RCに台風災害お見舞金を送付しましたところ本柳会長からお礼状が届きましたので、回覧いたします。
2. 昨日グループメールでもお伝えしましたが、山本加奈子様より真備町で被災された住民への生活物資の寄付のお願いがありました。
男性用衣類・肌着（新品のみ）・食器類・冬用家電・タオル・洗剤などが不足しているそうです。ご寄付頂ける不用品がありましたら、クラブ事務局までお願いします。
3. 本日 地区大会名札を全会員のレターケースに配布致しました。
大会に参加される方は、必ずご持参下さい。
4. 留学生との交流会に於いて、関西大学国際部 古川智樹准教授から頂きましたお土産のお菓子を本日記らせて頂きます。



※スマイルボックス

西本(明)会員：気忙しい
村田会員：相原先生 お話楽しみです
渡邊幹事：コメントなし
山本(雅)会員：コメントなし

※ロータリー財団

藤田会員：「留学生との交流会」 皆さま有難うございました
黒川会員：冬近し
高尾会員：コメントなし

※米山記念奨学会

柳原会員：一年もあと僅かです
黒川会員：寒いですね
高尾会員：相原会員 卓話よろしく
相原会員：卓話です よろしく
岸上会員：コメントなし
西本(明)会員：コメントなし

※ラオス基金

藤田会員：寒くなりました!! 風邪っぽいです!!
柳原会員：船の修理も終わりました マストの貼り替え完了
渡邊会員：コメントなし

※メイプル基金

水本会員：本日 インフルエンザ予防注射 また値上がり今年は 3,000 円になっていました
水島会員：相原会員 卓話よろしくお願ひします
黒川会員：相原先生の卓話を楽しみにしています
藤田会員：相原会員卓話楽しみです!!
西本(明)会員：寒くなりました
柳原会員：今週はガシラ釣れるかなあ
高尾会員：コメントなし
山本(友)会員：コメントなし

大井川鉄道は、南アルプスに源をもち駿河湾に流下する大井川沿いに1931年（昭和6年）に金谷から千頭までの総距離39.5Kmの陸運のための鉄道である。無煙化計画で廃止となった蒸気機関車を最初に運行させた鉄道である。SL乗車については、4月の卓話でご紹介した。今回は、大井川を千頭駅より25.5Km上流にある井川駅までの秘境鉄道乗車体験紀をお話する。この井川線は、「南アルプスあぶとライン」と言い、6か所の水力発電ダム工事に設置された鉄道で軽便軌幅（762mm）が後に狭軌幅（1067mm）に拡幅された。しかし、トンネルは拡張されていないためディーゼル機関車や客車はミニ列車となっている。橋梁61か所 トンネル55か所あり、列車走行中は金属音のきしみ音が鳴り響くので苦手な方の乗車は苦痛であろうと思われる。この路線は、7番目に建設された利水・治水ダムにより路線が水没することとなり、山腹の上部に移設することとなり、路線の傾斜が1000mの距離に90m昇降するため、アプト式電気機関車を導入した。また、路線変更により景観が良くなるなど、いくつかの駅に特徴があるため鉄道マニアにとって秘境路線として知られている。アプト式鉄道は、1893年から1963年まで信越本線の碓氷峠に設置されていたが廃線となり、1990年に大井川鉄道・井川線に復活した日本に唯一の鉄道路線である。

新駅に「奥大井湖上駅」がある。大井川上流に向かって左側にあった路線は、ダム湖に沈むため右側の対岸に湖上駅を置き、橋でつながり、再び左岸に鉄橋で渡る。この鉄橋はレインボーブリッジと呼ばれていたが、後に東京湾に架かる橋がレインボーブリッジと呼ばれ有名になっている。鉄道会社のアイデアにより「湖上駅」を「恋錠駅」と呼び、駅には「鍵箱」が設置され、恋人二人が買い求めた「錠前」を湖上駅に降り立ち、「幸せを呼ぶ鐘」を一緒に撞くというロマンチックなストーリーが作られている。千頭より12番駅に「尾盛駅」があり、2匹のタヌキの置物が迎えてくれる。駅舎はないが小屋が設置されている。クマが出没した際に逃げ込むためと言われる。駅構内の敷地は広いが、周辺には住人は居らず駅につながる道路は存在しない。この場所にはダム建設関係者が多数居住する宿舎があり、小学校が置かれ医師も駐在していたが、工事終了と共に引揚げ、無人駅となっている。駅を利用する住人が存在しないにもかかわらず全列車が停車する駅として鉄道マニアだけが降り立つ駅として有名である。この駅の先に「沢の関橋梁」が架かっている。この鉄橋は高さ70.5mあり現在日本一高い鉄橋である。2005年までは宮崎県の高千穂鉄橋が高さ105mあり日本一であったが台風で被害を受けて廃線となったため現在は「関の沢橋梁」が日本一高い鉄橋である。さて、この旅の最大目的であって私が訪れたかった寸又峡の『夢の吊橋』は、千頭駅よりバスに乗り換え40分程の山中にある。ダム湖面がエメラルドグリーンを呈し、新緑や紅葉時には絶景であり『一生に一度は渡りたい世界の吊橋10選』に選出されている。寸又峡温泉まで行ったが、数日前からの大雨続きで『夢の吊橋』行きは果たせなかったのが残念であり再挑戦したいと思っている。